

健康ぶらざ

No.447

企画:日本医師会

かぜをひきやすい・長引く・とじれやすい 『喘息やCOPDのサイン』

通常、かぜの症状はのどの痛みや咳などで、数日で回復していく場合があります。しかし、かぜをひきやすい方、かぜをひくと長引いたり、咳や痰がひどく、ひびいていたりする方もおられると思います。その場合、喘息やCOPD(慢性閉塞性肺疾患)といった呼吸器の病気に罹っている可能性があります。

喘息は、発作的にじめじめと息をするのがよくある症状ですが、咳だけの症状を繰り返すこともあります。また、子どもからお年寄りまで罹ります。治療が遅れたり、適切な治療をしなかつたりすると症状が進み入院も必要になることがあります。

COPDは、ほとんどが長期間の喫煙でおこる病気です。

最初は、かぜをひきやすい、かぜをひくと長引くといったことがよくあります。病気が進行すると、慢性的な咳、痰、動いた時の息切れの症状が出します。さらには進行すると息切れが悪化し、日常生活がとても困難になってしまいます。



喘息やCOPDは、早く診断を受け、治療を続けば、病気も進行せず、日常生活も支障なく送ることができます。簡単な検査で診断できますので、気になる呼吸器症状が続く時は、かかりつけ医に相談してください。